

糖尿病教室のご案内

糖尿病教室とは、糖尿病について理解を深め、正しい自己管理が出来るよう支援するための教室です。

2019年度 年間テーマ			
	開催日時	テーマ	担当
第1回	6月7日(金)	糖尿病について	内科部長 竹田
第2回	8月2日(金)	クイズで楽しく学ぼう糖尿病	糖尿病療養指導士 看護師 山田
第3回	10月4日(金)	糖尿病のお薬について 糖尿病の検査を知ろう	薬剤師 葛和 薬剤師 中尾 臨床検査技師 藤井
第4回	12月6日(金)	食習慣と食事のバランスについて 考えてみましょう	管理栄養士 植田
第5回	2月7日(金)	糖尿病克服のための運動療法	理学療法士 津村

- 場 所：国保中央病院 緩和ケア病棟「ASUKAホール」
- 時 間：13時30分～15時00分
- 対象者：どなたでも参加していただけます。
気軽にご参加ください。
- 参加費：無料(事前申込不要)

【お問い合わせ】
医事課
TEL0744-32-8800

外来診療案内

赤字は女性医師です。平成31年2月現在

診療科	月	火	水	木	金	土	
内 科	一診	吉川 雅	上田	上田	上田	吉川 雅	担当医
	二診	竹田 幸	竹田 幸	吉川 雅	金子	塩山	—
	三診	高木	竹田 惣	西村	石田	金子	—
	四診	中谷	堂原(呼吸器)	鴨門(循環器)	西村	竹田 惣	—
	五診	芥子(循環器)	—	—	—	—	—
	午後	—	—	竹田惣(消化)	—	—	—
外 科	一診	山田	—	山田	—	—	吉川 高
	二診	明石	杉森	担当医	明石	杉森	担当医
	三診	—	—	—	—	—	東条(呼吸器外科)
整形外科	一診	吉良	片山	古田	中村 敏	古田	担当医
	二診	下西	北條	片山	—	下西	—
	三診	片山	—	—	—	—	—
小 児 科	一診	阪井	中農	飯田	高川	阪井	担当医
	二診	橋本	高川	橋本	中農	飯田	担当医
	午後	—	予約外来 (慢性疾患) 予防接種	予約外来 (慢性疾患) 予防接種	予約外来 (慢性疾患)	予約外来 (慢性疾患) 乳児検診	—
※泌尿器科	望月	尾張	望月	望月	望月	尾張	尾張
※皮膚科	—	小川	—	西村	—	—	—
緩和ケア科(緩和ケア) (完全予約)	中村 契	—	中村 契	—	中村 契	—	—
緩和ケア外来(完全予約)	山田	杉森	—	—	—	山田	—
心療内科(精神腫瘍科) (完全予約制)	—	—	—	四宮	—	—	—

診療受付時間 初診は午前8:30から午前11:00まで
再診は午前8:00から午前11:00まで
※泌尿器科診療開始時間は9:30からとなります。

休診日 第2・4土曜日・日曜日・祝祭日
12月29日～1月3日 年末年始休暇

※受付時間以外の時間帯で診察を希望される場合、お電話にてお問い合わせください。
※担当医は変更となる場合があります。

国保中央病院

奈良県磯城郡田原本町宮古404-1 ☎ 0744-32-8800代 fax 0744-32-8811代
■ホームページアドレス <https://www.kokuho-hp.or.jp/> ■メールアドレス info@kokuho-hp.or.jp

2019年2月号 Vol. 41



国保中央病院 広報誌
KOKUHO CHUO HOSPITAL

さわやか



- 目次**
- ◎ 院長挨拶 1
 - ◎ こどもの低身長について 2
 - ◎ 2019年乳幼児スキンケア教室等の
ご案内 2
 - ◎ インフルエンザの薬の話 3
 - ◎ 2019年度糖尿病教室のご案内に
ついて 4
 - ◎ 外来診療案内 4

基本理念

医療の質を高めることにより、地域住民の皆さまの健康保持と増進に寄与し、住民の皆さまに信頼され、愛される心温かな病院を目指します。

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

平成年号の最後となる年が明けました。磯城郡川西町、三宅町、田原本町、そして北葛城郡広陵町の皆様方にはよいお正月を迎えられたことと存じます。

当院は、平成5年に開院し、まる25年を経過したことになります。この間、構成4町には急性期機能を有する病院がないことなどから主に急性期疾患に対応する病院として機能してまいりましたが、団塊の世代が後期高齢者となる2025年以降の超高齢化社会に向けて急性期だけでなく、回復期、慢性期の患者様にも対応する機能が求められています。そこで平成26年8月から6階に地域包括ケア病棟50床を設置いたしました。この病棟は急性期疾患や外傷の治療を経過し、もう少し療養が必要な患者様や骨折などの術後で継続したリハビリが必要な患者様に少し長期にわたってその病棟に入院・療養していただくための病棟です。この約5年間にたくさんの方々がこの地域包括ケア病棟に入院され、リハビリに専念された後に在宅に復帰されました。病床稼働率は約80%、在宅復帰率は93%、平均在院日数は31日です。

また、当院は、政府や県が推し進めている地域包括ケアシステム構築の中で、医療、介護がこの地域で完結できますように、地域の開業医の先生や介護施設、訪問看護ステーション、ケアマネさんなどと当院の地域支援センターと連携を密にし、患者様がスムーズに入院や退院ができますように努力し、医療と介護の連携に努めてまいります。

一般の急性期医療に関しては、内科も外科も消化器



院長
阪井 利幸

病疾患を専門としており、両者が協力して診療にあたります消化器病センターを設置しております。上部・下部内視鏡検査、胆膵内視鏡検査、各種消化器外科手術、胆道ドレナージ、上部消化管出血に対する緊急止血術、早期がんの内視鏡的粘膜切開剥離術、大腸ポリープ切除術なども多数行っています。

小児科につきましては、中南和地区における小児救急の中核病院として2次救急輪番を多数担当し、平日夜間には近隣の医療機関からの紹介にも対応しています。受入れ救急患者数、入院患者数では県下で最大となっています。また、近年増加している食物アレルギーに関しても、小児アレルギー専門医が各食物の負荷テストなど日帰り入院で実施し、関連のあるスキンケア教室なども定期的に開いております。

平成17年に病院北側に建てられた奈良県初の緩和ケア病棟は、毎年約200人の患者様が奈良県全域から紹介され入院しています。院内で各職種がチームを組み、終末期のがん患者様に十分な時間をとってケアをしています。

また、地域に密着した公立病院として、今年も住民参加の公開講座、出前講座、院内コンサート、健康フェスティバルなどの企画も行っており、特に健康フェスティバルはみなさまの興味のある検査をふやし、毎年来場者が増加しております。

当院も開院後25年が経ち、ハード面でさまざまな補修、改築を計画しております。昨年は病棟のトイレや、駐車場の舗装の改修に取り組んでいます。

当院は4町の住民皆様方のための公立病院です。このことを職員一同しっかり胸に刻んで今後も住民の方々に信頼され、愛される病院を目指して、ますますの努力をしていく所存ですので一層のご理解とご支援をお願いいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

平成31年1月

国保中央病院は 川西町 三宅町 田原本町 広陵町 の4町によって設立された自治体病院です。



こどもの低身長について

小児科部長 飯田 陽子

低身長のお子さんの多くは、家系や体質的な理由によるもので病気とは言えず、治療の対象にはなりません。しかし、中には病気で低身長になっている場合があります。「低身長症」の原因となる病気が多いのが「成長ホルモン分泌不全性低身長症」という病気です。これは、「成長ホルモン（GH）」が十分に分泌されず、不足することで起こります。では、病気が疑われる場合でどのような治療をするのでしょうか。

<どんな時に受診すればいいのか？>

平均身長との差が大きい場合や、身長の伸びが悪くなっている場合に受診ください。小学校低学年までの受診がお勧めです。その頃までに治療を開始しなければ平均身長まで届かないことが多いからです。

<検査はどのようなことをするのか？>

身長、体重の経過をチェックした上で血液検査やレントゲンにて骨年齢を判定します。疑いが強ければ薬を投与して、それに反応した GH の分泌量を血液検査でチェックする「成長ホルモン分泌負荷試験」を行います。通常は数日間の入院が必要です。

<治療について>

「GH分泌不全性低身長症」と診断されれば、GHをお薬として定期的に（1週間に5～7日）ご家庭で注射することで身長の伸びが期待できます。治療には健康保険が使え、小児慢性特定疾患の助成が適用される場合もあります。国保中央病院の小児科でも、「負荷試験」や、「GH製剤による治療」を行っています。お子さんの低身長が気になる方は、成長の記録を持参のうえ、御相談下さい。



2019年アレルギー教室のご案内

国保中央病院アレルギー教室では、以下の3つの教室を開催予定です。参加無料ですので、お誘いあわせの上、是非ご参加ください。（要予約）

教室名	開催内容	開催日時	参加対象
乳幼児スキンケア教室 	アレルギー予防につながるスキンケアについての話、泡立て体験、個別相談	1月31日(木) 13時～ 4月18日(木) 13時～ 7月18日(木) 13時～ 10月17日(木) 13時～	5才までの乳幼児とその保護者
エピペン教室 	食物アレルギーとエピペンの正しい使い方等についての話	2月21日(木) 13時～ 6月5日(水) 15時～	- エピペンを処方されているお子様とその保護者等 - エピペンについて知りたい方
喘息教室 	気管支喘息、正しい吸入の方法等についての話	8月1日(木) 13時～	気管支喘息のお子様とその保護者等

※開催会場については、いずれも国保中央病院ASUKAホールです。

※予約方法 お電話にてお申込みをお願いします。 担当課 企画総務課
TEL 0744-32-8800 予約締切 開催日前日の17時まで
予約時間 平日 9時～17時

医療機器等の更新、施設整備について



骨密度測定装置
(GE ヘルスケア製 PRODIGY Fuga Advance-C)



骨密度測定装置を更新、腰椎・股関節の測定が可能になりました。その他、顔認証離院防止システムの導入や手術台ベッド等の更新設備を行いました。また、6階トイレの改修や2階・3階屋根の防水工事、駐車場の舗装改修などの整備も行っています。

インフルエンザとおくすりの話



インフルエンザの治療は抗インフルエンザウイルス薬投与が中心となります。主に使われるのは、5種類あります。

抗インフルエンザウイルス薬の効果は、インフルエンザの症状が出始めてからの時間や症状により異なります。抗インフルエンザ薬を適切な時期（発症48時間以内）に使い始めると、発熱期間は通常1～2日ほど短縮され、人に感染させる期間が短縮すると言われています。しかし、発症から48時間以降に使い始めた場合は、十分な効果が期待できません。インフルエンザが疑われる場合は早めに医療機関を受診し、処方された薬の用法、用量、期間（服用する日数）を守ることが大切です。

薬品名（医薬品名）	剤形 / 服用期間
タミフル (オセルタミビルリン酸塩※)	内服/1日2回×5日間
リレンザ (ザナミビル水和物)	吸入/1日2回×5日間
イナビル (ラニナミビルオクタン酸エステル水和物)	吸入/1日1回のみ
ゾフルーザ (バロキサビルマルボキシル)	内服/1日1回のみ
ラビアクタ (ベラミビル水和物)	点滴/1日1回のみ（重症の場合） （は連日点滴）

※後発品（ジェネリック）あり

～タミフルの使用と異常行動について～

☆10歳代のタミフルの使用が可能になりました。

タミフルは10歳代の患者へ使用すると因果関係は不明であるが、“異常行動”の報告が相次ぎ、原則使用が禁止されていました。しかし、異常行動はタミフルの副作用ではなく、インフルエンザに罹患したこと自体で発現し得る症状である可能性が高まり、約10年ぶりに処方可能になりました。

異常行動は、多くがインフルエンザによる発熱後24時間以内の比較的早期、また睡眠中に発現することがあると言われています。万が一の事故を予防するため、小児・未成年者にインフルエンザの治療が開始された後は、治療薬の有無を問わず、少なくとも2日間、保護者の方は小児・未成年者が一人にならないように心がけて下さい。

～新薬ゾフルーザ発売～

ゾフルーザは今シーズン初めて市場に出る新薬です。最大の特徴は1回経口投与で治療が可能な点です。また他の4種類の抗インフルエンザウイルス薬と作用機序が異なり、ウイルスの増殖を直接抑制します。

これまでの抗インフルエンザウイルス薬は細胞内で増殖したウイルスが細胞外に遊離するのを抑える薬剤で、増殖そのものを抑制する作用はありません。